

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Innovation Center Harima 建設工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県たつの市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	15人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年12月27日
敷地面積	612,576 m ²	作成者	中塚 哲
建築面積	1,498 m ²	確認日	2021年12月27日
延床面積	2,804 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	46	100%
②建築物の取組み	34	81%
③上記+②以外の	34	81%
④上記+	34	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.1

音環境	1.0
温熱環境	2.2
光・視環境	1.6
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.5
耐用性	2.5
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	1.8

3 設計上の配慮事項	
総合	敷地内の既設建物の外観や配置を考慮し、工場としてのまとまりを図った建物とする。
その他	
Q1 室内環境	空調や照明等、建物内作業時において支障がないように努めている。
Q2 サービス性能	内外装共に防汚性の高いものを選び、維持管理に配慮している。工場内の生産エリア機械の大きさの関係で階高が高くなる事で室内の空間にゆとりがあり、天井裏スペースも充分なので、空調配管の更新・修繕がしやすく
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内の既設建築物とバランスよく調和させている。緑化に関しては工場立地法に適合する面積を植栽等で施している。
LR1 エネルギー	一次消費エネルギー消費量に関しては、省エネ法に適合した設備を設置している。
LR2 資源・マテリアル	将来的に解体等を行う際、躯体と仕上げ材は分別可能となっている。
LR3 敷地外環境	公害等、敷地外環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される